

富津市第3次基本計画 概要版

平成23年4月から
スタートします

◆計画の目的

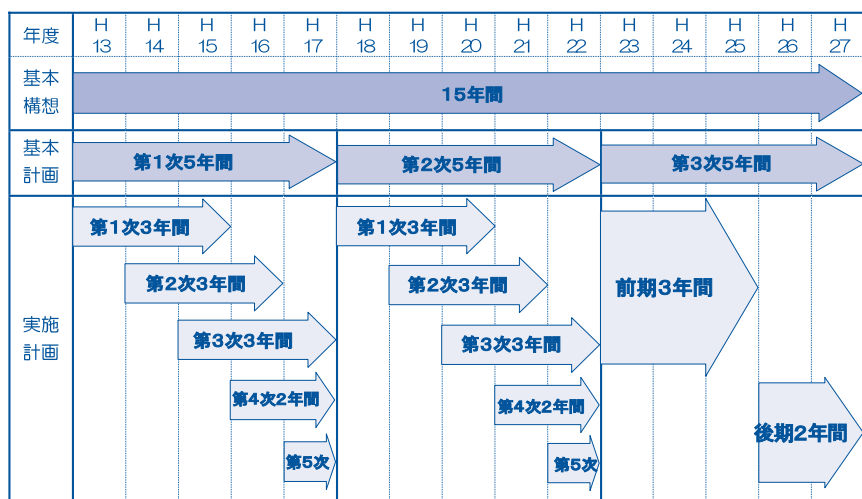
現在の本市最上位計画である富津市基本構想は平成13年度からスタートし、この構想に示されている将来都市像「躍動とにぎわい 安らぎとふれあいの交差するまち ふっつ」を実現するため、これまで第1次、第2次基本計画を定め、これを基本とし、まちづくりに取り組んできたところです。

本計画は、平成22年度をもって第2次基本計画の計画期間が終了することから、これに続く基本計画として、平成23年度から平成27年度までを計画期間とし、今後5か年間に推進しようとする基本的な施策や、これを計画的・効果的に実現する事業などを示し、本市の行政運営の指針とするものです。

◆計画の体系と期間

本計画を推進するための具体的な事業を示した実施計画は、期間内1回の見直しとし、平成23年度から平成25年度までの3か年計画を前期、平成26・27年度の2か年計画を後期として進行管理を行います。

なお、実施計画への掲載事業は、重点プログラムの課題解決に結びつく主要事業を中心に選定します。



◆計画の特徴

1 市民との協働による計画

本計画の策定にあたっては、市民等アンケート調査をはじめ、各種団体の関係者と公募の委員からなる富津市第3次基本計画策定市民会議の開催、パブリックコメントなど様々な機会を通し、市民の皆さんのご意見をできる限り計画に反映させるよう努めました。

2 指標や目標の設定によるわかりやすい計画

全ての施策において、施策目的を明確にしたうえで、施策指標を新たに設定しました。

施策指標は、計画最終年度の平成27年度にどのような状態にするのか、目標を示したものです。

今後、施策目的の達成状況を明らかにするために、各年度の現状値を測定し、評価・検証することによって計画を推進していきます。

3 重点プログラムの明示

本計画期間内のまちづくりにあたっては、政策の推進テーマを設定し、その実現に向け特に、緊急かつ重点的に取り組むべき課題を明示し、財政状況や社会環境、社会情勢などを勘案した中で、課題解決に積極的に取り組みます。

◆人口目標

本市では、少子高齢化の進行が顕著であるとともに、人口も昭和60年から平成22年までの25年間で約8,700人も減少しています。

これらの動向を踏まえ、将来の人口推計を行った結果、本計画の目標年度である平成27年には、45,706人となることが予測されます。

この予測を基本として、本計画期間中に展開する子育て支援策をはじめとする各種施策の実施効果を見込み、平成27年の人口目標を次のとおり設定します。

平成27年 人口目標
46,000人

◆施策の体系と主な指標

1 多彩な産業が展開する活力あるまち（産業経済）

基本施策	1 農林業の振興	4 工業の振興
	2 水産業の振興	5 観光の振興
	3 商業の振興	6 雇用対策の促進

主 な 施策指標	指標名	現状値	目標値（平成27年度）
	企業誘致数	49社	60社
	観光客入込者数	2,794千人	2,900千人
	完全失業率	5.5%	全国平均値以下

2 都市基盤が充実し利便性の高い住環境のまち（基盤整備）

基本施策	1 地域環境の整備	5 首都圏第3空港誘致活動の推進
	2 道路網の整備	6 住環境の整備
	3 公共輸送網の整備	7 公園・緑地の整備
	4 港湾の整備	8 情報通信基盤の整備

主 な 施策指標	指標名	現状値	目標値（平成27年度）
	市道の改良率	53.5%	54.7%
	市道の舗装率	87.8%	88.3%
	定住奨励金制度の実施率	0%	100%

3 自然と調和した快適な生活環境のまち（生活環境）

基本施策	1 防災体制の整備	5 環境衛生の充実
	2 消防体制の充実	6 上水道事業の推進
	3 交通安全・防犯対策の充実	7 下水道事業の推進
	4 廃棄物処理対策	8 自然環境の保全

主 な 施策指標	指標名	現状値	目標値（平成27年度）
	自主防災組織率	43.0%	66.4%
	火災件数	29件	減少
	ごみ処理量	20,570トン	17,441トン

4 人々の心がふれあい支えあうまち（福祉保健）

基本施策	1 地域ぐるみ福祉の推進	6 男女共同参画社会の実現に向けて
	2 高齢者福祉の充実	7 保健・医療の充実
	3 障がい者福祉の充実	8 社会保険制度の充実
	4 子育て支援の充実	9 地域コミュニティの育成
	5 生活の安定と自立への支援	10 消費生活対策の推進

主 な 施策指標	指標名	現状値	目標値（平成27年度）
	子ども医療費対象	0歳～小学6年生	0歳～中学3年生
	延長保育実施所・園数	4か所	全保育所・園
	特定健康診査受診率	34.5%	80.0%

5 豊かな心を育む教育と文化の香るまち（教育文化）

基本施策	1 学校教育の充実	4 スポーツ・レクリエーションの振興
	2 生涯学習の充実	5 文化・芸術活動の推進
	3 青少年健全育成の推進	6 文化財の保護と活用

主 な 施策指標	指標名	現状値	目標値（平成27年度）
	小中学校校舎等の耐震化率	60.7%	100%
	公民館・市民会館利用者数	130,540人	146,000人
	市民文化祭参観者数	14,692人	21,000人

6 効率的な市政運営と市民参加をめざすまち（行財政）

基本施策	1 行財政運営の効率化	2 市民参加の推進
------	-------------	-----------

主 な 施策指標	指標名	現状値	目標値（平成27年度）
	経常収支比率	93.3%	現状以下
	市税徴収率	90.3%	91.1%
	市ホームページアクセス件数	141,479件	195,000件

◆第3次基本計画における推進テーマと重点課題

富津市基本構想では、都市像を「躍動とにぎわい 安らぎとふれあいの交差するまち ふっつ」と掲げています。

本計画でもこの都市像は土台に据えていきますが、そのうえで、計画期間5か年間のまちづくりにあたっては、政策の推進テーマを設定し、その実現に向け特に、緊急かつ重点的に取り組むべき課題を明示し、財政状況や社会環境、社会情勢などを勘案した中で、課題解決に積極的に取り組みます。

<推進テーマ>

安心して子育てできるまち

<重点課題>

1 安全・安心なまちづくり

近年、全国各地で発生している大規模な地震や集中豪雨、特に発生が予想される南関東での大地震などへの不安感が高まっており、災害被害を最小限に食い止める減災事業の推進や消防体制、地域における防災体制の強化が求められています。

重点プログラム

施策大綱	基本施策	展開施策
2 基盤整備	2 道路網の整備	・都市計画道路の整備 ・生活道路の整備
	6 住環境の整備	・住宅耐震化の促進
3 生活環境	1 防災体制の整備	・災害に強いまちづくりの推進 ・防災意識の普及徹底
	2 消防体制の充実	・消防施設の充実
4 福祉保健	1 地域ぐるみ福祉の推進	・地域ぐるみ福祉体制の整備
	4 子育て支援の充実	・地域における子育て支援の充実
5 教育文化	1 学校教育の充実	・学校、給食施設の整備

2 子育てしやすいまちづくり

少子高齢化が進展する中、次世代を担う子どもがいないまちには明るい未来は描けないことを認識し、子育て支援として行政ができる限りの対策を講じるとともに、少子化傾向に歯止めをかけていく必要があります。

重点プログラム

施策大綱	基本施策	展開施策
2 基盤整備	2 道路網の整備	・都市計画道路の整備 ・生活道路の整備
	3 公共輸送網の整備	・鉄道交通の利便性の向上 ・バス交通の利便性の向上
	6 住環境の整備	・新規居住者への支援
4 福祉保健	4 子育て支援の充実	・子育て家庭への支援 ・保育サービスの充実 ・地域における子育て支援の充実
	7 保健・医療の充実	・健康づくりの推進
5 教育文化	1 学校教育の充実	・教育内容、方法の改善
	2 生涯学習の充実	・生涯学習施設の整備

3 人のつながりが広がるまちづくり

近年、地域社会での交流が希薄になり、地域がもっていた支え合い、助け合いの機能が失われつつあります。

地域において安心して生活するためには、お互いが顔見知りになり、子どもからお年寄りまで多様な世代が交流・連携・協力することが求められています。

また、複雑化する地域課題の解決や多様化する社会サービスの需要には、行政だけで対応することは難しくなっており、地域、企業、NPO、行政など多様な責任のある主体が、お互いの信頼のうえに協力・連携し、まちづくりに取り組むことが今後さらに求められています。

重点プログラム

施策大綱	基本施策	展開施策
1 産業経済	5 観光の振興	・地域ブランドの確立
3 生活環境	1 防災体制の整備	・災害に強いまちづくりの推進 ・防災意識の普及徹底
	4 福祉保健	1 地域ぐるみ福祉の推進 4 子育て支援の充実 7 保健・医療の充実
5 教育文化	2 生涯学習の充実	・生涯学習施設の整備
	6 行財政	2 市民参加の推進
		・市民参加の推進 ・地域活動の推進

第3次基本計画書及び前期実施計画書は、市役所の本庁舎や天羽行政センター、連絡所、公民館、市民会館のほか市ホームページでも閲覧できます。 問 企画政策課 ☎80-1223

— 平成23年度の予算が決まりました — 今年度の事業をお知らせします

3月の定例市議会で、平成23年度の当初予算が可決されました。一般会計と3つの特別会計、2つの企業会計を合わせた286億6,038万円で今年度の事業が進められることになりました。

一般会計が156億4,000万円で対前年度比0.2%の増額となったほか、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計は増加し、後期高齢者医療特別会計が減少となりました。また、企業会計では水道事業会計、温泉供給事業特別会計がともに減少となりました。

今年度からスタートする富津市第3次基本計画に位置づけた推進テーマ「安心して子育てできるまち」の実現に向けた今年度の主な事業は、次のとおりです。

問 財政課 ☎ 80・1237

自然と施設をいかしたまちづくり

- 市イメージアップ事業660千円
- 農作物被害対策事業16,828千円
- 農地・水保管理支払交付金事業3,753千円
- 水産業振興費（環境・生態系保全対策）2,625千円
- 東京湾漁業総合対策事業12,717千円
- 漁港整備事業37,750千円
- 中小企業資金融資対策事業47,529千円
- 企業誘致対策関係費（企業誘致奨励金）120,008千円
- 観光総務関係費（観光大使設置事業）294千円
- 宿泊・滞在型観光促進事業1,600千円

安心して暮らしやすいまちづくり

- 合併処理浄化槽設置促進事業20,584千円
- 公害対策総務関係費（環境監視指導員）3,852千円
- 土砂災害ハザードマップ作成事業1,050千円
- 庁舎周辺整備事業（消防防災センター建設地造成工事）157,127千円
- 道路整備事業149,590千円
- 住宅建設資金利子補給事業8,890千円
- 住宅・建築物耐震改修等事業640千円
- 消防自動車等整備事業14,891千円
- 消防防災センター整備事業（設計業務）45,371千円
- 津波・高潮ハザードマップ作成事業6,983千円
- 防災訓練事業724千円

青少年がのびのび育つまちづくり

- 小中学校施設の耐震化事業100,583千円
- 図書蔵書管理事業48,861千円
- 英語指導員配置事業4,320千円
- 外国人英語指導助手活用事業12,960千円
- ふれあいスポーツフェスタ事業1,800千円
- 市民文化祭事業1,371千円
- 市民会館文化事業2,000千円

健康で思いやりのあるまちづくり

- 子ども医療対策費94,008千円
- 放課後児童健全育成事業7,996千円
- 子ども手当給付事業817,312千円
- 児童扶養手当給付事業142,034千円
- 妊婦乳児健康診査事業23,976千円
- 各種予防接種事業76,357千円
- 子宮がん検診事業9,834千円
- 乳がん検診事業6,063千円

市民と対話をするまちづくり

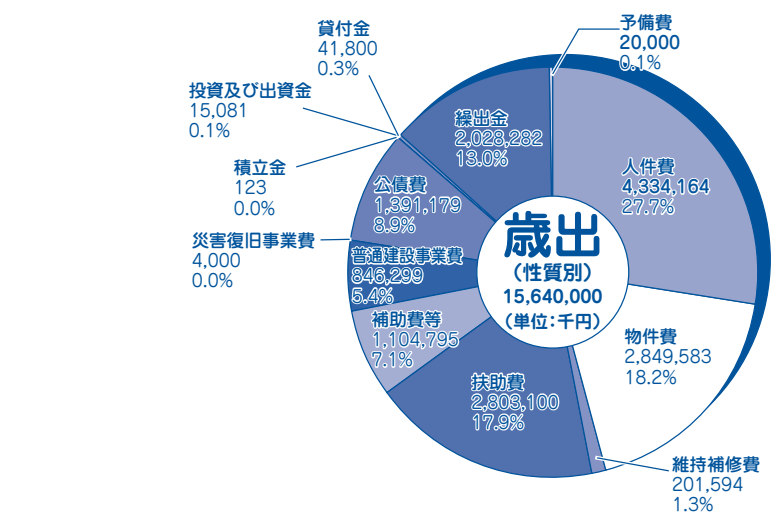
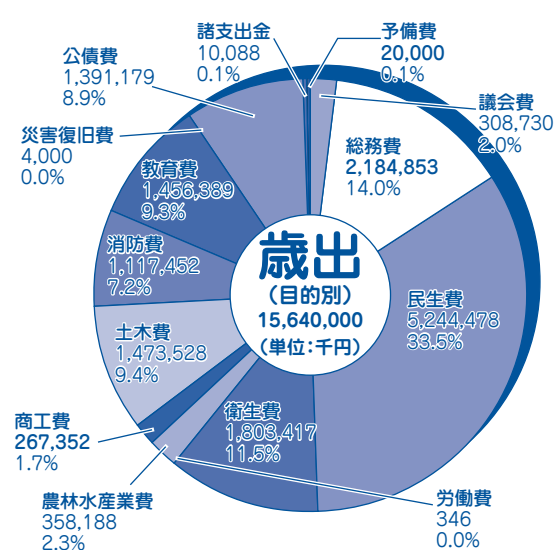
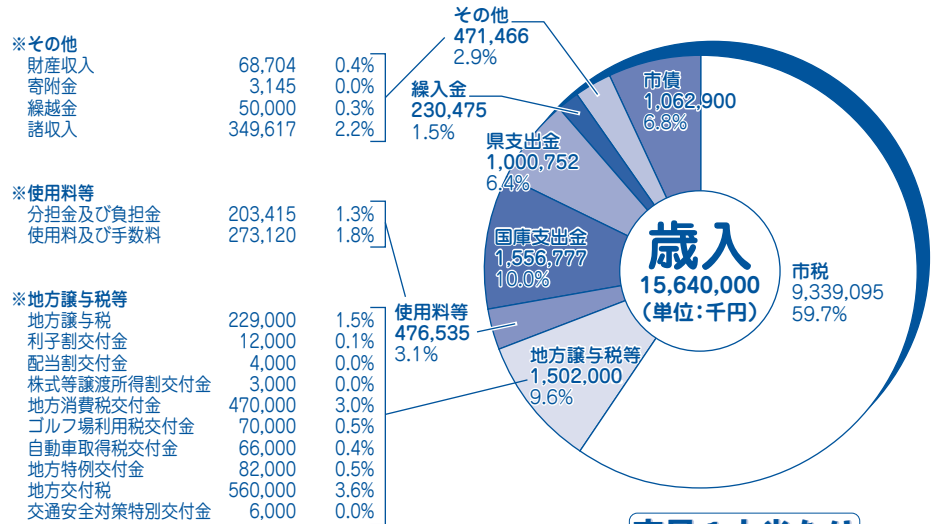
- 市民参加促進事業166千円

○会計別予算

(単位：千円)

会計名	平成23年度予算	平成22年度予算	対前年度増減額	対前年度増減率
一般会計	15,640,000	15,610,000	30,000	0.2%
特別会計	6,893,209	6,844,386	48,823	0.7%
国民健康保険事業	419,535	444,673	-25,138	-5.7%
介護保険事業	3,369,862	3,282,376	87,486	2.7%
小計	10,682,606	10,571,435	111,171	1.1%
企業会計	2,335,418	2,460,430	-125,012	-5.1%
水道事業	2,356	2,851	-495	-17.4%
温泉供給事業	2,356	2,851	-495	-17.4%
合計	28,660,380	28,644,716	15,664	0.1%

一般会計当初予算内訳



市民1人当たり
使うお金 32万840円
税金で負担するお金 19万1,583円
基準平成23年2月28日現在
住民基本台帳人口 4万8,747人

1世帯あたり
使うお金 82万7,163円
税金で負担するお金 49万3,923円
基準平成23年2月28日現在
住民基本台帳世帯数 1万8,908世帯

市の財政状況をわかりやすくするために、23年度予算（一般会計）をひと月の家計簿のイメージに置き換えてみました。

給与収入（市税や使用料・手数料など）だけで、日常経費（人件費）・医療費（扶助費）・ローンの返済（公債費）の、いわゆる義務的な経費を賄うと、残金が2万5千円で、日用品の購入や光熱水費など（経常的な経費）を支払うには、親からの援助金（地方交付税など）に頼らざるを得ない状況になっています。

このような状況のなか、家の増改築（普通建設事業費・災害復旧事業費）には、親からの援助金（国・県支出金）や借り入れ（市債）を活用し、お金を充てることにしました。

※金額は、予算額を5万分の1にしたものです。

収 入			支 出		
項目	予算上の項目	金額	項目	予算上の項目	金額
給与収入	市税、使用料・手数料など	196,000円	①食費などの日常経費	人件費	87,000円
親からの援助金	地方交付税、国・県支出金など	81,000円	②家族の医療費	扶助費	56,000円
預金の引き出し	繰入金	5,000円	③ローンの返済	公債費	28,000円
借り入れ（銀行など）	市債	21,000円	◎義務的な支出の合計①～③		171,000円
前月からの繰越金	繰越金	1,000円	④日用品の購入や光熱水費など	物件費	57,000円
雑収入	寄附金、諸収入	9,000円	⑤家のドアなどの修理	維持補修費	4,000円
合計		313,000円	⑥自治会などの会費	補助費等	22,000円
			◎経常的な支出の合計①～⑥		254,000円
			⑦習い事の入会金	投資・出資・貸付金	1,000円
			⑧子どもへの仕送り	繰出金	41,000円
			⑨家の増改築	普通建設事業費・災害復旧事業費	17,000円
			合計①～⑨		313,000円

平成22年度予算の執行状況 (2月末現在) 市の家計簿をお知らせします

市では、さまざまな事業を進めていく中で、皆さんの納めた税金や国・県からの補助金、市債などがどのように使われているかをお知らせするため、毎年4月と10月に財政事情を公表しています。

今回は平成22年度予算の平成23年2月末現在の執行状況をお知らせします。



耐震補強工事が終了した飯野小学校校舎

一般会計の状況

平成22年度一般会計の予算額は、当初156億1,000万円でスタートしましたが、これに21年度で完了しなかった事業を22年度で引き続き実施するための事業費1億2,318万6千円と、これまでの補正での5億8,659万9千円を増額し、163億1,978万5千円となっています。

この予算額に対し、歳入では120億3,439万6千円が収入済で、歳出では114億2,077万8千円が支出済となっています。

歳入		収入済額	120億3,439万6千円	収納率	73.7%	歳出		支出済額	114億2,077万8千円	執行率	70.0%
		予算額	163億1,978万5千円					予算額	163億1,978万5千円		
市 税	収入済額	76億4,208万6千円	92億6,148万5千円	収納率	82.5%	総 務 費	支出済額	18億3,207万6千円	21億5,533万4千円	執行率	85.0%
	予算額						予算額				
地方交付税	収入済額	4億6,616万8千円	3億2,600万円	収納率	143.0%	民 生 費	支出済額	32億9,291万5千円	50億1,180万6千円	執行率	65.7%
	予算額						予算額				
国庫支出金	収入済額	11億9,179万4千円	20億3,174万8千円	収納率	58.7%	衛 生 費	支出済額	14億5,959万6千円	17億3,891万7千円	執行率	83.9%
	予算額						予算額				
県支出金	収入済額	3億6,538万2千円	9億3,127万円	収納率	39.2%	土 木 費	支出済額	12億2,146万6千円	19億995万4千円	執行率	64.0%
	予算額						予算額				
繰越金	収入済額	2億829万1千円	6,212万6千円	収納率	335.3%	教 育 費	支出済額	14億3,522万2千円	21億4,052万1千円	執行率	67.1%
	予算額						予算額				
市 債	収入済額	7億9,120万円	19億9,960万円	収納率	39.6%	公 債 費	支出済額	6億6,489万1千円	13億8,174万8千円	執行率	48.1%
	予算額						予算額				
そ の 他	収入済額	13億6,967万5千円	17億755万6千円	収納率	80.2%	そ の 他	支出済額	15億1,461万2千円	19億8,150万5千円	執行率	76.4%
	予算額						予算額				

■ は収入済額

■ は支出済額

市有財産の状況

土地 1,910,314㎡	建物 162,774㎡
車両 135台	積立金 1,164,367千円

市債の状況

学校や道路など、公共施設の整備には多くのお金を必要としますが、市税や国・県の補助金だけでは賅いきれません。そこで、国や県などから資金を借り入れて事業を進めています。この借入金を市債といいます。

(単位：千円)

目 的	平成22年度末未償還残高見込額	目 的	平成22年度末未償還残高見込額
道路、橋などの整備	1,826,410	地方一般財源の不足に対応	6,736,208
庁舎の建設など	1,037,011	災 害 復 旧	23,159
学校の校舎、体育館、プールなどの建設	1,788,564	漁港、農道、林道などの整備	262,764
減税などによる減収に対応	1,343,412	消防車などの消防施設整備	150,218
クリーンセンターなどの建設	1,290,812	合 計	14,458,558

特別会計の状況

(単位：千円)

会 計	予算額	区分	執行額	執行率
国民健康保険事業	7,054,086	歳入	5,313,481	75.3%
		歳出	5,887,530	83.5%
老人医療	5,570	歳入	2,723	48.9%
		歳出	933	16.8%
後期高齢者医療	442,086	歳入	241,215	54.6%
		歳出	337,318	76.3%
介護保険事業	3,337,480	歳入	2,378,016	71.3%
		歳出	2,761,519	82.7%

企業会計の状況

(単位：千円)

会 計	区分	収益的収入・支出			資本的収入・支出		
		予算額	執行額	執行率	予算額	執行額	執行率
水道事業	歳入	1,544,084	1,424,398	92.2%	596,838	61,688	10.3%
	歳出	1,529,679	1,103,017	72.1%	940,364	334,638	35.6%
温泉供給事業	歳入	1,528	1,409	92.2%	31	31	100.0%
	歳出	3,148	762	24.2%	32	3	9.4%